

第六防衛師團(基地部隊)本部

六吋砲用彈底及砲百式海岸迫擊彈三挺、誘導電
弓(發射三台)

四吋野砲砲列

數台可動式(誘導彈用)迫擊彈(三挺)深地盤
十吋(反射器)高射三挺。機槍

機槍及高射砲(發射三挺)、火炮引導引導車
牽引、牽引車三台。

三。砲、守備兵用兵令(一九四一年)

鐵道一千名、陸軍一部隊(一九四一年)列名。

是張塔

施設班

第四施設部、令遣隊

機槍組施設部、令遣隊

火工分隊、油槽(機槍等三挺)、水槽二個、

上呼(火)、機槍三挺、水槽一水槽、雨布二條。

支小隊威斯

機槍、手榴及、防爆服

機械四隊、軍械、軍需、軍械

第四補給部五所

萬萬三萬事、郵便五所

「安樂山」(「三木」山)

軍械工廠、機械可能下格、庫房大、持、三箇
所、若、降島、隸、連繩物、機械等。

1.P.S.Dan. No. 3345-1/1945

(「于那空」基地戰鬥機及輸送機)

三架之機有工場三箇及飛行場四箇。

工場並二飛行場用動力機(二千匹)

第六防備隊令遣隊

「那北」山(「那北」山(「那北」山))

仁川軍運輸電信計

東端(「那北」基地本部)之機基地了。

當地飛行隊

施設班

兵器系學校(複數)配屬

第四施設部令遣隊

橫濱施設部令遣隊

吳海軍工廠カラ令遣隊

第六防備隊令遣隊

「ウオジエ」#

海軍無線電信所

觀測所

第六防備隊分遣隊(「ウオジエ分遣隊」)
防備アリ(報告済)。

監視塔アリ。

着陸場(一九三七年完成) 海軍諜報所
四九。(当地ニ飛行隊、一九四一年六月)。
施設班。

兵器係將校配屬。

第四施設部 分遣隊

横須賀施設部 分遣隊

横須賀海軍工廠カラノ分遣隊

「油槽」。

深水埠頭

第四補給部 支所。

第四陸軍軍需品部 支所。

「マロエ」#1(「タラオ」島)

海軍無線電信局

第六防備隊分遣隊(「シラオ分遣隊」)。

「シラオ」基地。

監視塔。

着陸場建設中（一九四〇年）
施設班。

第四施設部 分遣隊
貯藏設備，軍醫團相，衛生隊
對入(A)

本通信分類：一九四七年十月十四日附送
續參看第十五三七二九一三二頁；命
令「秘密」、「修改」。

配備巡警部隊核(四名或四名以上)
(1)「江川」及「丸山」)第四施設部一分隊
(2)「江川」及「丸山」)橫須賀施設部一分隊

海軍總參謀會信函

1.125. Dec. 110. 3345-Annex /

測候所

〔エニウエト〕令遣隊(第六防備部隊、令遣隊
要塞、設入報告書)

一九三五年昭和十年一、築造進行中、潛水艦基地

著陸場、此處(?)

第四施設部、令遣隊(八、島、鳥、二、
令遣隊、?)

吳海軍工廠、令遣隊
(カ、ト、チ、オニガ島)

海軍無線電信所
(ビキニ)

要塞、

オニ干、基地、微子、?

ジエラード、
海軍無線電信所

オニ干、基地、微子、?

島、演習中、オニ干、= 実際使用サル

ジエリク

海軍無線電信所(報告書)

海軍無線電信所

測候所
海軍人員此處、報告書

1.9

1.P.S. Doc. 110. 3345-Annex 1

P.10

7
7
7

海軍總參謀處信所（報密處）

此通信，分類八

一九四七年十一月十四日附連續番號第一五三七三
號第三二頁，命三倍，秘密=738上級更。

同封物（A）

P.12

第四防衛軍司令部
潛水艦基地(一九三四年)
要塞化(九三二年)
監視塔(軍官指揮所)
海上機器修理所(一九三四年)
機械修理基地(一九三四年)
潛水雷管廠(一九三四年)
九三二年十二月一號軍械庫(軍械庫)
機械工事(軍械庫)

新嘉坡

一九三四年

海軍無線電臺所
第四防備軍司令部
封人物(A)

一九三三年潛水艦 打造(軍械庫)

海軍無線電信所

第四防備軍司令部

木木木

海軍無線電臺所

要塞化(一九三四年)

側候所

第四防備軍司令部(一九三四年)

一九三二年十二月一號軍械庫(軍械庫)

及一九三二年十二月一號軍械庫(軍械庫)

要塞化

南方軍司令部(軍械庫)

「ヨカジ」島 実端二別、基地アル由

海上機施設、航室甚地。

第十一航室隊

地雷及水雷貯藏所（アル由）

土木工作部

ナクトニ二名、兵士番将校、配属アリ。

第四土木工作分遣隊（「ラシカル」島ミテ活動）

機械加算土木工作分遣隊。

油貯藏所（アル由）

陸軍貯藏（彈薬）部支所

第四補給部支所

第四陸軍郵便支局。

本通信、類別ハ一九四七年、十一月

十四日附、第一五三七三号、第三二直

三ヨリ那類別二度更せル。

海軍無線電信所

電探器アル由

測候所

第四防備軍司令部。

第四防備軍分遣隊（「トヨク」分遣隊）

七〇號（基地）（「ヨカジ」航室甚地）

一九四三年二月陸軍部隊当地到着トヨク
在山木村二分割千名ト推定サル。

7. 要塞化
7. 上島二陸上機械行場
島南端二列、陸上機械行場
空軍二列、陸上機械行場
海上機械設
7. 地雷及水雷防備
機械防衛、用意
香港總司令部軍械土木工作隊
軍械土木工作隊。

封入物 (A)

支那

ラク(漢字)

土木工作部。

横須賀土木工作分遣隊。

吳海軍工廠ヨリ分遣隊。

燃料貯藏所(丁山)。

委任統治司令部第四軍事貯藏(軍需品)部。

第四軍事貯藏(軍需品)部支部。

委任統治司令部第四兵站部。

第四兵站部支部。

委任統治司令部軍事郵便局。

ラルワット。ホ(ハサウエ) (エーテルビイ)

海軍無線電信所。

第四防備軍分遣隊。

才口ル。

海軍無線電信所。

第四防備軍分遣隊。

ラモトシク。ホ(スウェイ)

海軍無線電信。

第四防備軍分遣隊。

海軍一航空基地。

ワオヒヤイ。

海軍無線電信所。

水上機基地二充当、首報セラ。

ウリク。

辨 宽
ヤツア。

海軍無線電信所。

観測候所。

海軍要員此處在り。報告。

要塞化セリ。報告。

アジル近辺。陸上機飛行場(アヒュ)。

水上機作戦基地。廣く使用する所。

前横濱航空隊(?)。

土木工作部。

第四軍貯藏(軍需品)部支所。

ハラオ。#ハラオ-ペリエ-等ヲ含ム。

海軍無線電信所(少佐モニ)。

高周波電探器。

合同無線信号部。

海軍無線電信所。

前進艦隊投錨地。

商業無線電信所(アヒュ)。

海軍無線電信所。

作戦上陸地下報セラ。

本通信、類別一九四七年十月十四日
附才一三七三号才三頁二ヨリ非類
別二要參セリ。封人物(合)

測候所。

司令部第3防備部隊(基地部隊)。

司令部第3防備隊。

第3防備隊分遣隊。

駐在海軍武官(兼任統治海軍大部)。

推定立平、陸軍部隊(一九四一年六月八日到着。
陸軍駐在武官、海軍上連絡。

觀測塔、射擊指揮所及び砲床(八門)
アマガ島、西側三建設中(六門砲一枚門輸送船ヨリ
卸)。

全部燈台、觀測哨、射擊指揮所(使用中)
レ居モ、上信セル。各燈台近旁三砲台設置ヤル居
モ、上信セラ。

アマガ島東端、丘上、航空機發着場置づ
アマガ島東端、丘上、航空機發着場置づ

アマガ島、高江南方三彈薬庫貯藏所。

アマガ島二兵舍及び砲床。

アマガ島西端及ビベニテアマガ島東南隅二兵
舍。

アマガ島、島上水上機施設及着水場。

アマガ島二水上機施設及着水場。

アマガ島、海軍基地。

戰闘機翼一ペリ。

第4航空隊、十六水上機隊。

P. 18.

J.P.S. file No. 3345-Annex 1

方四航空技術部。

前于歲航空隊(方四航空隊?)。

機雷及水雷貯藏所(下向)。

土木工作部。

少々七四名、兵士等支拂入。

方四土木工作分遣隊。

橫須賀土木工作分遣隊。

吳海軍工廠ヨリ分遣隊。

本通信類別一九四七年十一月十四日附
本立三三号三三頁ニヨリ非類別三處更
改

同封物 (A)

新一窓

八木井 (繪)

第一軍貯藏 (庫裏) 部 分所

第一兵站部 分所

弓張島西南側 (下相島) 油貯藏所

ラム水道 (前進艦隊投錨地)

又ガビンガル島 (潛水艦基地) が建造中 (由)

海軍水路部 分所

軍事郵便局 (二分局)

ヘンリーフ井

海軍無線電信所

測候所 (水上飛行機基地)

建設活動 (見ウケラル)

日井 (口上ド、ノイズ)

海軍無線電信所

石油 (ク) 五個 (見受ケラル)

海軍無線電信所

第一陸續隊 (分遣隊)

ホーリン島 (小笠原諸島) (奉行統治島) (非)

文島井

海軍無線電信所

高岡 (電探) 登局

陸軍守備隊

要塞化 (海軍航空隊 (水上機) 作戦基地)

機電貯藏庫 (元曲)

土木工作部。

カス島群(南島、島) (委任統治島=非)

海軍空線電信所。

電探署局。(今)

測候所。

カス島分遣隊。

カス島基地。

陸上飛行機飛行場(?) (一)

本通信類別: 一九四一年十一月廿日
附才二五三三等第三百三リ 非類
別更正

同封物(A)

アリ諸島。

カス。

陸上機飛行場(?) (アリ)

水上機(?) 及潛水艦基地(?) (アリ)

水上機及潛水艦作戰=使用也。

要塞(?) (アリ)

油貯藏所(アリ)

ハグン

海軍空線電信所。

基地、臨時飛行場、母艦機三三リ 使用也。

土木工作部。

才四木工作分遣隊。
才三木須賀木工作分遣隊。
海軍電線電信所。
高周波電探測所。
測候所。
要塞化重砲高射砲燈空燈(尼曲)
聯合見張所並沿岸砲台管理所
(ガラシーフラウアリーナススミ三ツカヒル)
其地。
陸軍守備隊一營一倉庫。
才五防備隊(基地軍)司令部。
才五防備軍司令部。
才五防備軍分遣隊。
才三海軍航空隊アリト=陸上機行場。
水上機施設。
才三航空隊(木更津陸上機飛行中隊數
又(複數)合(少)?)
才三航空技術部。
機電及水雷貯藏所(尼曲)。
土木工作部。
才四木工作分遣隊。
才三木須賀木工作分遣隊。
才三海軍工廠分遣隊。

J.P.S. file. No. 3345-Annex 1

P. 23

新嘉坡

海軍無線電信所

聯合監視所及沿岸總督（海軍）所

要塞化七所

第十二附屬軍令遣隊

土木工作部

第十四土木工作令遣隊

參謀將校（之一：後勤）- 隸屬

第十四土木工作令遣隊

模擬實木工作令遣隊

口外

海軍無線電信所

要塞化七所（一由）

附屬軍令遣隊（一由）

潛水艦基地（？）（一由）

本圖示（類別）一九四七年十一月十四日

附第一五三七三号，第三十二頁三九

非類別三變更七所。

封人物 (A)

缺一空

八、各艦總指揮、各山艦、其他、總軍兵力

(甲) 第四(一等艦)艦隊。(二、三、四、五、六)

(乙) 陸上 海軍兵力

第一防備隊(司令部 1~6)

第二防備隊(司令部 7~12)

平定島及三級合計 12 個營歸他、海軍
三級山及第五防備隊、命道隊(二、三、四、五、六)

第三防備隊(司令部 13~19)

東部及中部力口 12 個營歸外、外、部

島嶼 = 第山及第六防備隊、命道隊(二、三、四、五、六)

第六防備隊(司令部 20~26)

第七山及三級歸他、外、部島嶼 = 第山及

第八防備隊、命道隊(二、三、四、五、六)

(丙) 陸上 陸軍兵力

八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、
(二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六)

(乙) 海軍 命道隊(海軍 1~6)

(二、三、四、五、六)

木材工作命道隊(木材總隊 1~6)

(二、三、四、五、六)

(本) 海軍航空兵力。

相者證實十一、精確十七總數三數
次定三唐六、次表、信六化足化斷片
的報告、分析、結果如未上之也。

現任、陸上航空機基地擴張率、建設工事完成
一八、方ソノナ、之ヲ九六一九七型雖又號陸上
機、長距離爆擊機及二戰鬥機用上シテ
使用不セ、上信セハ、此等、航空機之情形極
應江得ベキ數ヲ以テ此等基地、能相之未
ハシ。

本通信類別、一九四七年
十一月十四日附第十五三七三
号第三二頁、ヨリ非類別
ニ變更ナシ。

回轉物 (A)

二、委任統治領於進行中、行動

「九」九月廿一艦隊ノ指揮せ此時、「九」二十一拂曉艦隊「東部委任統治領位處」^ノ太平洋艦隊海軍油槽船上連絡^シ無電^シ通信妨害活動ヲ開始^シ、九四年八月下旬^シ九月初旬「九」八委任統治領域^シ於^シ航空兵科^{（飛行母艦及海岸基地航空機）}及^シ潛水艦隊^ヲ北部^ノ十六日^シ諸島附近^シ西進中、一本四艦隊、素^ニ假想敵部隊^ヲ搜索^シ所^在、確^ニ攻^シ未^シ為^シ使用^シ海軍^ノ行^シ。一般防^シ空^ノ操^リ不^可、^ト了^シ向^如十九日^シ演習、詳細^ノ及^シ結果[、]不明^ト。

一九四〇年十一月、^シ次^シ艦隊再^シ演習、隊^ニ轉立^シ潛水艦隊^{（九）}九月廿一拂曉^シ、意^シ深^シ下^シアラウ^ノ南部參照^{（シ）}（商船^ヲ取^リ）海軍^ノ子備補助艦、委任統治領^ノ、^シ行動^シ後^シ明^シ二十日^ノ九月廿一^シ、軍備^{促進}促進^シ、^シ定^シ一明^ニ三國條約[、]署^シ明^ト共^ニ為^シ。

一九四〇年末^シ九月廿一^シ、^シ人員資材及^シ補給品[、]、^シ多^シ逐^シ漸^シ的^ニ增加^シ、^シ九四一年七月二^シ約^シ四^ノ百五隻[、]船舶^ノ才^シ本島^ノ委任統治領^ヲ越^シ工事復^活至^シ。

分析^シヨハ^シ船舶、約六十五%^ノが東^シ九月廿一^シ諸島反^リ、^シ九月廿一^シ諸島行^シ。

相^シ十九^シ船舶活動[、]、^シハ^シノラオ^シト^シノ^シ不^可。

反^リ、^シ之^シ上^シ地域^ニ明^シ、^シ九月廿一^シ、^シ九月廿一^シ、^シ地域^ニ近^シ、^シ外國汽船[、]航空機、^シ偵察^シ及^シ偵察機[、]爆^シ轟機^及

沿岸機關及行動二圖

一九四一年、初秋八月間、臺灣省役處軍事委員會軍事委員會、
管理處本部擴張、為一行三軍軍事委員會軍事委員會、
二不干涉之處。委任統領行政、委任統領行政、
居該處即為舊例之行政組織、平行、但之
上獨立之據、取之尤。自有、從未嘗、委任統
領行政、中心下、今復之引領、サウアラウガ
委任統領行政、總參謀部、總參謀部、行政、其失、今、
下ラウガ中心、。

者司令部又於艦上，或於陸上或留空，各防備戰隊，二防備隊，一防備隊，本大戰備場，合三司令部本部，並以各軍令遣隊，分佈于三層地。基地於丁山防備場，宜興之湖鄉，間二八聚寶工協力，力謀大功。

第三防備戰隊、四隻、總指揮總參謀長六官、三種
老舊船隻分配給十二個小隊、他防備戰隊分給
廿二隻、廿七艘、總參謀總參謀長七十人。

1870-1871